

◆認知症専門医による監修◆

認知症予防脳ドックのご案内

2025年、65歳以上の高齢者の**5人に1人**は認知症になると言われています。
認知症は**早期発見・早期対応**がとても重要です。
認知症予防脳ドックを受診して、認知症の適切な治療や、予防のきっかけにしませんか？

検査対象：50歳～85歳までの方

検査内容：身体測定 / 頭部MRI・MRA / VSRAD / 頸部エコー / 心電図 / 脈波 / 尿検査 / 血液検査（血液一般、酸化ストレス・抗酸化力測定、甲状腺ホルモン・梅毒、ビタミンB12・葉酸） / 認知機能検査（MMSE）

有料オプション：APOE遺伝子検査 ￥16,500円（税込）

認知症専門医による医療相談 ￥16,500円（税込）

共催：医療法人 和（なごみ）クリニック

監修・診断：院長 徳山まどか先生（日本認知症学会 専門医）

★検査項目

◆酸化ストレス・抗酸化力測定とは？

酸化ストレス・抗酸化力を測定する血液検査です。酸化とは、「錆びる」ことです。りんごを切って空気に触れさせると切り口が茶色く変色しますが、それは私たちの体の中でも起こり、酸化ストレスが高いと老化が早まるといわれています。脳は老化の影響を受けやすく、酸化ストレスを軽減し、抗酸化力を高めることで、**認知症の予防**につながります。

◆VSRADとは？

MRI検査を用いて記憶の形成・保持・再生をつかさどる“海馬傍回”付近の脳の萎縮度合いを診断する検査です。アルツハイマー認知症では、海馬傍回付近の萎縮が最も早期にみられるのが特徴です。コンピューターで正常脳のデータと照合・解析することによって、海馬傍回付近の**萎縮度合いを客観的に評価**します。

◆認知機能検査とは？

記憶や注意力など日常生活に必要な認知機能を測定する検査です。各々15分から30分程度の口頭で行う質問検査で、認知症鑑別のための簡易な検査(MMSE)を用いて、**認知機能の低下**を評価することができます。

◆APOE検査とは？

遺伝子型を調べて**アルツハイマー型認知症発症のリスクを判定**する血液検査です。APOE遺伝子のε4の有無とアルツハイマー病発生の関係を調べると、ε4を全く持たない遺伝子に対してε4を1つないし2つ持つ方の発症リスクは3倍～12倍に高くなるといわれています。